

Life・Culture & Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

焼津福祉文化共創研究会通信 第70号

本会結成6か月後、福祉文化実践活動を「見える化・わかる化」する
 目的で毎月「通信」を発行して7年目、このたび70号を迎えた

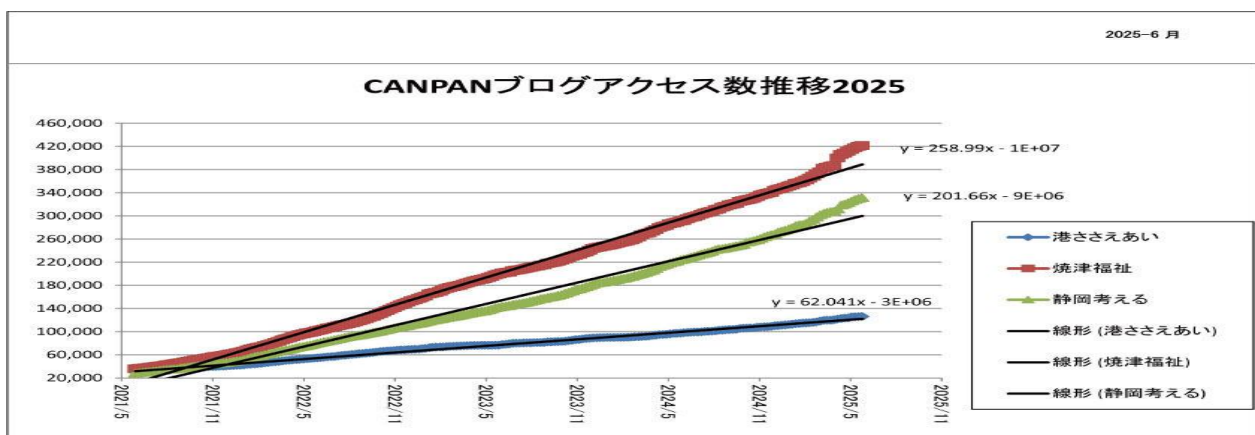
令和元年度4月に、地域の課題解決に向けて、市民の立場で、主体的にさまざまな地域活動に取り組む「志縁組織」として活動を始動6か月後の「9月定例研究会」において、「焼津福祉文化共創研究会通信発行企画書」に基づき「研究会通信」の発行を協議した。

本会の3つの活動基調（「専門性と市民性の融合」「公開型活動」「調査研究活動」）を基に活動するに当たり、広く地域住民に広報啓発し、活動を発信する目的で「研究会通信」を発行することにした。

内容（a 事業の取り組み状況、b 研究会論議の焦点、c 研究会経過記録・事務局日誌拝見、d 小話題、e 地域からの反響、f 会員の声等）、仕様の確認（A4版・原則両面2P、発行部数・当面50部）、配布先（会員14、焼津市V連23、関係機関・団体13）、発行回数（月1回程度）、経費（会費で賄う）で、ここに70号を迎えた。

発行当初から、「QRコード」の作成、「研究会通信」をはじめ、「定例会議事録」「各種研修会報告」等を「ブログアップ」をして、広く情報発信にも努めてきた。

身近な地域活動に関心を持つ住民の方々も多く、最近、ブログアクセス件数は増加傾向にある。現在の「研究会通信」の配布・配信状況は、「メール配信36件」「配布部数80部」



*上図は、赤線:研究会、黄緑線:協働団体:静岡福祉文化を考える会、青線:本会立ち上げの原点(港地域ささえあい講座)(現在、自治会広報誌アップ)のそれぞれの6月1日現在の「ブログアクセス件数」

2025年度活動テーマ:「ご近所福祉を検証する」

5月定例研究会での議論……それは、「もっと、地域を見える化する工夫」

5月17日に開催した5月定例会の「ご近所福祉を検証⑬」における意見交換では、世代を超えたご近所づきあいのあり方について意見を交わした。

*自治会・町内会長会議や町内会・組長会では、現在のコミュニティの現状(課題)を話し合う環境をつくり、会合の内容(概要)を、全ての会員一人一人に、理解できるように情報発信をして、共通認識できるように周知する工夫をしていきたい。

具体的には、「それぞれの組織は、いま、どのように動いているのか・・・」「町内会長会議や組長会の協議内容の概要を会員に伝える」「回覧板の廻し方を申し合わせる」「コミュニティ組織をしっかりと理解し合う運営を提案し、会員が積極的に参画できる地域行事の維持に努め、有効に会費を活用する工夫」など、一部役員の負担を感じる運営から、会員それぞれが役割分担を持ち、会員相互の交流の機会をつくる。

*ご近所に関心を持つ「語れる環境づくり」に努力する。

*中学生対象調査結果からも、若い世代の出番をつくり、楽しい世代間交流に努める。

こんなことが紹介されていました。「ご近所福祉活動…5つのメリット」

- ①ご近所には、“世話焼きさん”が活躍されている。 語れる環境だからこそ、地域の人脈でつながる。
- ②福祉問題が見えやすい。 語れる環境だから、「他人」から「他者」そして「他己」につながる。
- ③深刻になる前に対処できる。 語れる環境だから、地域力が十分に発揮できる。
- ④生活の中で、足元の要援護者に関われる。 語れる環境だからこそ、信頼関係が生まれる。
- ⑤緊急事態にも即応できる。 語れる環境だから、地域ぐるみの課題にも取り組める。



シリーズ⑭ 若者発 ご近所福祉かるたで学ぶ

このコーナーでは、平成27年度・令和3年度・令和6年度に、協働団体：静岡福祉文化を考える会が、赤い羽根共同募金地域福祉広域助成事業により、世代を超えて身近な地域社会を学ぶ、地域福祉教育教材として作成した「若者発 ご近所福祉かるた」(本会活動参画)を本誌第57号から「シリーズ」で紹介。

今回は「は」「ひ」「絵札」は、漫画家 法月理栄様が作画。

*かるた等の問い合わせは、054-624-1924 平田まで



ボランティア活動をはじめには一寸とした勇気が必要です。さあ、「はじめの一歩」、その勇気でボランティア活動が始まります。



子どもの安全・安心をいかに確保していくか、今社会全体の問題となっています。地域全体で「子どもの見守り・声かけ」を。

焼津福祉文化共創研究会事務局日誌拝見(5/17~6/14)

- 5/17 5月定例研究会において、協働団体:静岡福祉文化を考える会が、現在作成中の「30年誌」の「第9章」に、「本会との協働」を組み入れることを確認する
- 5/19 焼津市V連日帰り研修(6/28 菊川市災害救助犬訓練センター)参加申し込み(2名)
- 5/24 焼津市V連絡協議会研修会参加(浜岡原子力発電所見学)
「協働団体：静岡福祉文化を考える会」第1回公開型研修会開催(静岡市清水区寄ってっ亭)
- 5/27 5月定例研究会の議事録を作成し、ブログにアップする
- 6/1 「研究会通信第70号」編集作業
- 6/5 「研究会通信第70号」発行、関係機関・団体等にメール送信及び配布作業実施
- 6/14 6月定例研究会開催

本会は、平成28年度から3年間、中学校区を中心に、地域の課題を学び合おうと、住民主体に「地域ささえあい講座」を開講し、延べ614名の地域住民が参加した。この学び合いの成果をもとに、継続的な話し合いの場をつくらうと、令和元年度に結成し7年目の活動に入った。身近な地域のことを一緒に語りませんか。

本会(「焼津福祉文化共創研究会」)への問い合わせは下記をお願いします。

〒425-0041 焼津市石津3丁目10-8 焼津福祉文化共創研究会 平田 厚
Tel&fax054-624-1924 090-4861-4547
E-MAIL: monogusa-tomyo@theia.ocn.ne.jp



焼津福祉文化共創研究会QRコード



協働団体：静岡福祉文化を考える会QRコード